

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 1 区分

【発行日】平成 17 年 4 月 14 日 (2005.4.14)

【公表番号】特表 2004-521052(P2004-521052A)

【公表日】平成 16 年 7 月 15 日 (2004.7.15)

【年通号数】公開・登録公報 2004-027

【出願番号】特願 2001-543466(P2001-543466)

【国際特許分類第 7 版】

C 0 4 B 35/581

C 0 4 B 35/64

C 0 4 B 41/80

H 0 1 L 21/68

【F I】

C 0 4 B 35/58 1 0 4 U

C 0 4 B 41/80 A

H 0 1 L 21/68 R

C 0 4 B 35/64 A

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 6 月 16 日 (2003.6.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

本質的に窒化アルミニウムからなる物体の体積比抵抗を低減する方法であり、その物体を窒素が不足している雰囲気において少なくとも 1 0 0 0 の温度に曝すことを含む方法。

【請求項 2】

2 3 の温度で  $1 \times 10^{13} \text{ ohm} \cdot \text{cm}$  より小さい体積比抵抗を有する多結晶質窒化アルミニウム体の形成方法であり：

a) 本質的に窒化アルミニウムからなる未焼成体を焼成して多結晶質体を形成させること；および

b) 多結晶質体の体積比抵抗を 2 3 の温度で  $1 \times 10^{13} \text{ ohm} \cdot \text{cm}$  より小さくするのに十分な時間、窒素が不足している雰囲気において少なくとも 1 0 0 0 の浸漬温度に該多結晶質体を曝すこと、  
の段階を含む方法。

【請求項 3】

窒化アルミニウムから本質的になる静電チャックの体積比抵抗を低減させる方法であり、該静電チャックの少なくとも一部を窒素が不足している雰囲気において少なくとも 1 0 0 0 の温度に曝すことを含む方法。

【請求項 4】

a) 第 1 の面および第 2 の面を有する電極；ならびに

b) 窒化アルミニウムを窒素が不足している雰囲気において少なくとも 1 0 0 0 の温度に曝すことを含む方法により生成される、窒化アルミニウムから本質的になる物体であり、該物体は該電極の第 1 の面に第 1 の部分ならびに該電極の第 2 の面に第 2 の部分を有し、該物体の第 1 の部分は 2 3 の温度で  $1 \times 10^{13} \text{ ohm} \cdot \text{cm}$  より小さい体積比抵抗を有し、そして第 2 の部分の体積比抵抗は第 1 の部分と一桁異なる大きさの範囲内にある、

ことを含む静電チャック。